令和４（2022）年度 麗澤中学・高等学校 学校評価

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基 本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ、 国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育のめざす人間像

１．大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い叡智を備えた人物
２．自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
３．自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

自己評価

１． 令和 4 年度 麗澤中学・高等学校の重点目標

【評価】 Ａ．よく実施できた Ｂ．実施できた Ｃ．不十分であった

（１）授業と課題の充実（学力の向上）⇒進学指導の充実（一般入試、総合型選抜、学校推薦型選抜）【B】
①学年ごと、学期ごとの指導内容と到達目標を確認し、目標の達成度を適切に測ることができる定期テストを学期が始まる前に作成することによって、目的意識を高く持って授業に臨む。
②教師中心の授業ではなく、生徒中心の授業を展開する。
③家庭で続きをしたくなるような授業を展開する。
④ICT を最大限に活用し、一方でアナログの良さも大切にする。
⑤主体的な学び、対話的な学び、深い学びの視点に加え、道徳的な視点を加えて生徒の資質・能力を伸ばす授業を展開する。（文理融合、探究、プログラミング教育の充実を含め）
⑥課題を提出させることが目的ではなく、課題出した結果どのような力がつくのかを納得させ、自主的に課題に取り組む姿勢を育む、教員は各課題の効果や効率について検証する。
⑦生徒の提出物に対して、その努力に誠意を持って応え、一人ひとりの生徒に適切なフィードバックを与え、簡単なコメントや賞賛を添えて激励する。
⑧副教材は必要最小限に留める。購入させたものは責任もって扱う。

（２）授業における生徒指導【B】
①わかる、できるという成功体験をすることができる授業を展開する。
②授業の開始時間と終了時間に関する意識を高める。
③授業開始時、終了時の挨拶を大切にする。
④人の意見を尊重し、友だちを馬鹿にしない、友だちの失敗を笑わないように徹底する。
⑤レベルの異なる学習や活動を用意することによって協働学習を推進する。

⑥話し手を育てるだけでなく、聞き手を育てることによって、話し手が大切にされているという思いを抱けるように指導する。

（３）キャリア教育の充実　【B】
①NIE 等を通して、社会の仕組みや産業、経済等について学習する。
②自らを見つめ、メタ認知をすることで適性や興味を知る。
③その適性や興味を生かすための職業を知る。

④その職業に就くためにはどのような資格や能力が求められるかを知る。
⑤キャリア教育を通して自分の生き方を考え、必要な資格や能力をいつどのように身につけるかを計画し、そのためには大学で何を学び、どういく準備をしなければならないかを自覚した上で、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。

（４）生徒会活動の充実　【B】
①教員のサポートの下で、生徒が自主的に行事や部活動等を企画・運営する体験をさせる。
②生徒が情報収集、情報処理、情報編集することで、客観的な判断ができる力を育む。
③日常の生徒会活動を充実させる。教員はその活動を把握した上で、適時適切なアドバイスを与える。

（５）目的意識を持った行事運営　【B】
①各行事を経たあと、生徒にどのようなプラスの変容がみられなければならないかについて検証し、各行事の目的と意義を確認する。
②行事を精選し、生徒の人格形成に寄与する行事を充実させる。

（６）生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育の充実　【B】
①一人ひとりの生徒を理解し、1 回きりの人生を豊かに生きることができるように指導する。
②生徒の個性を生かし、生徒個々の良さを伸ばす指導を行う。
③問題行動の早期発見及び保護者・地域との連携を強化する。
④保健室、スクールカウンセラーとの連携と教育相談活動を充実させる。
⑤配慮を要する生徒を確認し、教員は社会モデルの観点を持ってそれらの生徒の支援、援助を推進する。

（７）研修の充実　【C】
①「授業はなるべく見せてもらい、なるべく見てもらえ」と言われる。また、「人に見せられない授業を生徒にしてはいけない」と言うのは、教師が肝に銘じていかなければならない言葉である。したがって、すべての授業を公開することを原則とする。
②お互いの授業を定期的に参観し、授業研究を行う。
③教科会で相互授業参観を促進し、合評会を充実させる。
④「授業で生徒募集ができる学校」をモットーとする。
⑤教育学会、授業研究会等校外で開催される研修会にも積極的に参加する。

（８）保護者、同窓会、地域等との連携　【B】
①教育活動を円滑に効果的に運営していくためには保護者等の理解と協力が必要不可欠。
②「保護者は、子の教育について第一義的責任を有する」（教育基本法第 10 条家庭教育）と記されており、この点について保護者にも啓発する。保護者にも家庭教育における厳しさと温かさを求め、教員も襟を正して自らの力量の向上に努め、家庭、同窓会、地域等の教育力を借りながら教育活動に専念する。
③地域、行政、企業等の主催するコンテストに積極的に参加し、理解と支援をいただくよう努力する。

２．生徒による授業評価アンケート

本校では、過去 26 年間、北辰図書株式会社および株式会社ブレーンアカデミーが実施する授業評価アンケートを行ってきたが、教員の授業の改善にとってよりプラスになると判断して、令和元　(2019) 年度より、新たに代々木ゼミナール教育研究所によるアンケートに変更し、内容を一新し た。このアンケートは、中学校、高等学校それぞれ全クラスの生徒に対して、生徒が受けるすべての授業を評価するものである。
〔アンケートに記載されている質問〕
1.　先生の話し方は、聞き取りやすく、メリハリがあって、理解しやすい。【話し方】
2.　授業の目的や到達目標、予習・復習を含む授業への取り組み方や活用方法について、先生は 事前に十分な説明をしてくれる。【ガイダンス】
3.　先生の説明は組み立てや例示が工夫され、理解を確認しながら授業が進められている。
【説明工夫】
4.　《教壇系》板書（パワーポイント等の自作教材を含む）は、見やすく整理されており、復習する時に役立っている。【板書】
4.　《実技系》先生の指示や授業の決まり事は明瞭で、戸惑いなく行動できる。【指示】
5.　《教壇系》授業では集中できる環境を整えるための助言や工夫が随時なされ、宿題・課題・テ ストを通じて、授業で学んだことを応用する機会がきちんと設けられている。【助言】
5.　《実技系》授業内では、必要に応じて集中できる環境を整えるための工夫がなされ、技能・発表・作品等について授業で示された観点で評価され開演への助言が与えられる。【助言】
6.　先生の授業には熱意を感じる。【熱意】
7.　この授業を受けて、進路実現に向けての学力や技能の向上を実感できている。【学習効果】
8.　私は、この授業（学習や練習、課題など）に積極的に取り組んでいる。【意識・姿勢】
9.　授業の進み方（スピード）は、あなたにとってどうですか。【進み方】
10.　教材や課題の難易度はあなたにとってどうですか。【難易度】

※ 上記の回答方法 質問 1〜7 については、
「非常によく当てはまる」(10 点)、「よく当てはまる」(8 点)
「どちらかといえば当てはまる」(6 点)、「あまり当てはまらない」(4 点)
「当てはまらない」(2 点)
の 5 つの回答から 1 つを選択する。

質問 8 については、「非常によくあてはまる」(10 点)、「よくあてはまる」(5 点)
「どちらかといえば当てはまる」(0 点)、「あまり当てはまらない」(-5 点)
「当てはまらない」(-10 点)
質問 9 については、「速すぎる」(10 点)、「やや速い」(5 点)、「ちょうどいい」(0 点) 「やや遅い」(－5 点)「遅すぎる」(-10 点) の 5 つの回答から 1 つを選択する。
質問 10 については「難しすぎる」(10 点)「やや難しい」(5 点)「ちょうどいい」(0 点)
「やや易しい」(-5 点)、「易しすぎる」(-10 点) の 5 つの回答から 1 つを選択する。

中学（1 年生～3 年生）

		1	2	3	**4**	**5**	6	7	8	9	1 0
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.7	83.6	83.3	83.0	83.1	82.7	84.0	79.7	5.8	1.4	1.6
2020	83.7	84.6	83.9	84.3	84.4	83.7	85.0	80.0	4.7	1.3	1.6
2021	84.2	85.5	84.4	84.5	84.3	84.2	86.2	80.5	4.8	1.2	1.5
2022	**84.6**	**85.4**	**85.2**	**85.0**	**84.9**	**84.7**	**86.8**	**80.1**	**4.1**	**1.2**	**1.5**

高校（1 年生～3 年生）

		1	2	3	**4**	**5**	6	7	8	9	1 0
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.4	82.8	82.3	82.4	83.0	82.9	84.9	78.8	5.8	1.5	1.8
2020	81.9	81.5	81.7	82.2	82.5	82.3	84.3	78.9	4.4	1.2	1.5
2021	83.9	84.0	83.9	84.2	84.4	84.5	86.6	79.9	4.4	1.0	1.4
2022	**84.9**	**85.0**	**84.6**	**84.8**	**85.6**	**85.4**	**87.0**	**80.4**	**4.3**	**1.1**	**1.5**

〔評価の見方〕
・ 質問 1～7 については、回答者（生徒）各自の点数を総合したものを得点率（%）で表示し ている。
・ 質問 8～10 については、回答者（生徒）各自の点数を平均した点数（10 点満点）で表示し てい

る。

・ 質問 1〜7 については、100%は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合 であり、50%は「生徒の評価がプラスとマイナスの中間点に位置する」場合であり、20% は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。

・ 質問 8 については、10 点は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合であり、0 点は「すべての生徒がどちらかといえば当てはまると回答」した場合であり、-10 点 は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。

・ 質問 9 については、10 点は「すべての生徒が速すぎると回答」した場合であり、0 点は「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10 点は「すべての生徒が遅すぎると 回答」した場合である。

・ 質問 10 については、10 点は「すべての生徒が難しすぎると回答」した場合であり、0 点は 「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10 点は「すべての生徒が易しすぎると回答」した場合である。

・ 全体平均の値は、中高ともに、質問 1〜7 の総合得点を平均化した数値であり、学校全体の 平均値を意味している。

〔講評〕

・ 「授業評価」については、中学校は、１０項目中 7 項目において昨年より上回り、全体平均も 0.4 ポイント上昇した。最も高い評価が昨年に引き続き「熱意」であり、一番低かった学習効果も 80%超えることができた。また高校は、１０項目中 9 項目において昨年より上回り、全体平均も 0.8 ポイント上昇した。中高ともに生徒の授業に対する満足度は、右肩上がりで上昇しているといえる。

・ 生徒の授業に臨む「意識・姿勢」については、中学は－0.7 ポイント、高校は－0.1 ポイント となり、昨年並みといえる。2019 年度のように 5 点越えを目指したい。

・ 授業進度については、本校では高い進路目標を実現するためには、「授業速度」を一定の速度で進める必要があると考えている。すなわちより速く進め、それに着いていける生徒を養成したいと考えているため、進度が速いことが高い評価につながる形にしている。その点で今回中学が昨年と同様で±0.0 ポイント、高校が＋0.1 ポイントとなっていることから「ちょうどいい速さ」へと、シフトしたと考えられる。つまり生徒の学力レベルと授業レベルが昨年度よりやや適合化し、授業進度について来られる生徒が少し増えていると考えることができる。

・ 授業難易度についても、同様に高い進路目標を実現するためには、「授業難易度」を生徒の状況に合わせて少し高めに設定することを目指しており、難度が高いことが高い評価につながる形にしている。今回、今回中学が昨年と同様で±0.0 ポイント、高校が＋1.0 ポイントとなっており、年々、学校の授業難度により多くの生徒が適応するようになっていることがわかる。

・ このアンケートにおいては、目標到達値を各項目とも「75%」と設定しており、75%以上 であれば、全体として一定水準以上の授業が行われていると考える。このアンケートを採用している中高は全国で約 140 校であり、その中で「75%到達率（75%以上であった生徒 の校内比率)」の平均値は約「50%」となっている。本校の場合、「75%到達率」は、中学が 「84.6%」、高校が「84.7%」となっており、中高ともに、全国平均の 50%を大きく上回っている。全体的に生徒の授業に対する満

足度は高いと考えられる。

学校関係者評価

・ 例年、学校関係者評価は、本校の保護者役員の中から希望者を募って、学校に直接来校していただき、本校の教育活動（授業、部活動、教職員の諸活動等）全般を観察・評価する方法を採っているが、本年度も、新型コロナウィルス感染拡大（オミクロン株）による感染者の 急激な拡大を受けて、来校制限を設けざるを得なかったため、アンケート形式で実施することとした。アンケート形式であるため、例年と質問項目が少し異なっている。
・ 学校評価委員による学校評価

・ 実施期間 ： 令和 ５ 年 ２ 月１７日（金）～１８日（土）
・ 評価委員 ： ２９名（中高保護者会役員）

＊（ ）の中の数字は評価委員の人数である。
＊ 評価委員による評価がない場合もある。

評 価 ： Ａ＝良好、 Ｂ＝普通、 Ｃ＝課題がある、 Ｄ＝よくわからない

１．授業に関して
⇒ 授業に教員の情熱を感じることができるか。（Ａ：２１ Ｂ：７ Ｃ：０ Ｄ：０）
⇒ 生徒は意欲的に学習に取り組んでいるか。（Ａ：１２ Ｂ：１２ Ｃ：０ Ｄ：０）
⇒ 放課後の学習指導や個別指導は熱心になされているか。（Ａ：１８ Ｂ：１０ Ｃ：０ Ｄ：０）

２．部活動に関して
⇒ 部活動の顧問は熱心に指導しているか。（Ａ：１５ Ｂ：４ Ｃ：０ Ｄ：３）
⇒ 生徒は生き生きと部活動に参加しているか。（Ａ：１６ Ｂ：３ Ｃ：０ Ｄ：２）
⇒ 終了時刻を守っているか。（Ａ：９ Ｂ：５ Ｃ：０ Ｄ：５）
⇒ 施設や設備は十分に整い、安全性は保たれているか。（Ａ：１１ Ｂ：５ Ｃ：３ Ｄ：４）

３．生徒指導に関して
⇒ 生徒の服装や言葉遣いは適切であるか。（Ａ：１３ Ｂ：９ Ｃ：２ Ｄ：０）
⇒ 登下校中（歩行、バス）のマナーは守られているか。（Ａ：８ Ｂ：８ Ｃ：２ Ｄ：２）
⇒ 教員の関わり方は適切であるか。（Ａ：１３ Ｂ：７ Ｃ：０ Ｄ：１）
⇒ 挨拶ができているか。（Ａ：１４ Ｂ：８ Ｃ：１ Ｄ：１）

４．放課後の学習指導および個別指導に関して
⇒ 生徒の学習への取り組み（Ａ：５ Ｂ：５ Ｃ：３ Ｄ：１）
⇒ 個別指導面談の熱心さ（Ａ：８ Ｂ：３ Ｃ：０ Ｄ：３）
⇒ メディアセンターの雰囲気（Ａ：６ Ｂ：１ Ｃ：０ Ｄ：７）

５．教職員に関して

⇒　言葉遣いや服装は適切で好ましいか。（Ａ：２８　Ｂ：１　Ｃ：０　Ｄ：０）

⇒　挨拶ができているか。（Ａ：２８　Ｂ：１　Ｃ：０　Ｄ：０）

⇒　教員室の整理整頓はできているか。（Ａ：９　Ｂ：３　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　事務室の職員の対応は適切であるか。（Ａ：２５　Ｂ：２　Ｃ：０　Ｄ：２）

６．校舎内の美化に関して

⇒　教室の清掃はできているか。（Ａ：２２　Ｂ：７　Ｃ：０　Ｄ：０）

⇒　整理整頓、破損箇所はないか。（Ａ：１５　Ｂ：７　Ｃ：５　Ｄ：０）

７．　寮生活に関して（寮生保護者のみ）

⇒　理念にそった指導が行われているか。（Ａ：３　Ｂ：０　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　寮担任と寮生とは信頼関係で結ばれているか。（Ａ：３　Ｂ：０　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　寮生は和やかな雰囲気の中で生活をしているか。（Ａ：５　Ｂ：０　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　寮内の清掃は隅々まで徹底されているか。（Ａ：４　Ｂ：０　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　個室の整理整頓は行われているか。（Ａ：３　Ｂ：０　Ｃ：０　Ｄ：６）

⇒　日課に従った生活をしているか。（Ａ：２　Ｂ：１　Ｃ：０　Ｄ：６）

８．給食に関すること

⇒　栄養のバランス、カロリーなど十分に配慮がされているか。（Ａ：１４　Ｂ：７　Ｃ：３　Ｄ：０）

⇒　食材や食器の安全性・衛生面において安心できるか。（A:１３　Ｂ：１０　Ｃ：１　Ｄ：１）

９．防災に関して

⇒　防災教育はなされているか。（Ａ：４　Ｂ：３　Ｃ：０　Ｄ：８）

⇒　大震災への学校の対応はなされているか。　（Ａ：６　Ｂ：３　Ｃ：０　Ｄ：７）

⇒　緊急時の保護者への連絡手段はできているか。（Ａ：８　Ｂ：３　Ｃ：１　Ｄ：３）

10．その他

⇒　ホームページの更新はなされているか。　（Ａ：１６　Ｂ：７　Ｃ：１　Ｄ：２）

⇒　学級通信、学年通信、部活通信の内容は充実しているか。（Ａ：１５　Ｂ：８　Ｃ：３　Ｄ：０）